

佐賀市スマート農業現地研修会開催業務公募型プロポーザル質疑応答集

| No. | 質問項目及び内容   | 回答  |
|-----|--|---|
| 1   | <p><b>1回の研修会で2機種程度の解釈について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラクタ、田植機、コンバインなどをそれぞれ1機種と見なすのか？</li> <li>例) トラクタ2台と田植機2台の場合でも2機種程度と見なすのか？</li> <li>・現地研修会で準備できる機械台数は？</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回の研修会で2種類以上の機械を準備いただくことを想定して、2機種程度としております。ご質問の場合は2機種と見なします。</li> <li>・同一機種のみを複数台準備することを必ずしも排除するものではありませんが、機種の種類、台数について、最終的には佐賀市との協議により決定していきます。</li> <li>・機械の台数は、2台以上を想定しています。台数が多い方が、体験操作が行いやすいメリットがありますが、会場や現地研修会を実施する圃場の広さとの兼ね合いもありますので、最終的には佐賀市との協議により決定していきます。</li> </ul> |
| 2   | <p><b>現地研修会の開催期間について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期は7月～3月となるか？</li> <li>・日程は弊社で提案できるのか？</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約期間は契約締結日（6月中旬～下旬）から3月14日までとしており、これは研修会開催後の実績報告書提出までを想定した期間になります。このため、研修会の開催については7月中旬から2月中旬までを想定しています。</li> <li>・研修会日程は、企画提案書の中で具体的に日程をご提案いただくことに差し支えありません。ただし、最終的には佐賀市と協議により決定していきます。</li> </ul>  |
| 3   | <p><b>開催期間を考えると代掻きや田植えの実演、研修会の提案は不可か？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間を7月～3月と想定した場合、田植え時期を外れるため、代掻きや田植え作業の実演や研修会の提案は不可となるのか？</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お見込みのとおり、契約期間においては、山間部及び平坦部においても代掻きや田植え作業の時期ではありませんので、代掻きや田植え作業に係る実演や研修会は想定していません。</li> </ul>   |
| 4   | <p><b>現地研修会の内容は、実際の農作業時期での実施を予定しているのか？</b></p> <p>例) 大豆播種7月、コンバイン10月、麦播種11月～12月</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、農作業繁忙期以外での研修会開催を想定しています。</li> <li>・理由として、農家繁忙期の開催は、現地研修会を実施する圃場の耕作者との調整が難航する可能性が高いこと、また参加農家数の確保</li> </ul>  |

|   |  |  |
|---|--|--|
|   |  | <p>が困難なことが挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、実際の農作業時期での実演を排除するものではございません。有効な提案があれば、ご提案をお願いします。</li> <li>・最終的には、佐賀市との協議で決定していきます。</li> </ul>   |
| 5 | <p><b>平坦地2回、山間部1回の現地研修会内容について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦地2回は、同じ場所で時期が異なる別提案で考えるのか。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦地2回の開催時期は、異なる時期で1回ずつの開催を想定しています。</li> <li>・平坦地2回の研修について、提案内容を同一とするか、異なる内容とするかについて指定はありません。最終的には佐賀市との協議で決定していきます。</li> </ul>  |
| 6 | <p><b>現地研修会で実施する内容のみをプレゼンするのか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地研修会3回での使用を想定する機械のみをプレゼンするのか？その他の所有する有力機械や企業活動の紹介やプレゼンは不要か？</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画提案書のプレゼンテーションは、企画提案書に沿ったプレゼンテーションを実施いただくことを想定しています。</li> <li>・ただし、20分の説明時間内であれば、3回の現地研修会で使用する機械の性能や効果だけでなく、他の有力な機械や企業活動等を入れ込むことを排除するものではありません。</li> </ul>  |
| 7 | <p><b>事業費について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定している費用項目を知りたい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定している費用項目は、</li> <li>○<b>人件費</b>（事前準備、各種打合せ、当日運営、書類作成）、</li> <li>○<b>設営費</b>（会場設営、機材運搬、テント、机、椅子、拡声器、アンケート記載用具等）、</li> <li>○<b>資料作成費</b>（説明資料作成費、実績報告書作成、印刷料等）、</li> <li>○<b>宿泊費及び交通費</b>（スタッフの交通、宿泊費）、</li> <li>○<b>諸経費</b></li> </ul> <p>などです。</p> |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 8 | <p>これまでに実施された研修会について</p>  | <p>参考として令和5年度の佐賀市の取組として下記のような事例があります。</p> <p><b>実証実験</b>…農家へ機械を貸し出し、感想を聞き取り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水田管理システム、給水バルブシステム</li> <li>・自動操舵システム</li> </ul> <p><b>実演会</b>…機械の操作を間近で見ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RTK 基地局及び農薬散布ドローン</li> <li>・ロボット草刈機</li> </ul> <p><b>講演会、展示会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市の取組紹介と3企業からの先進事例等の講演。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水管理システムの活用事例</li> <li>・ドローンの可能性及びRTK 基地局の活用</li> <li>・ドローン打込条播技術とサービス</li> </ul> </li> <li>・機械の展示会では、水管理システム、農業用ドローン、自動操舵システム、ロボット草刈機を展示し、農業者と企業様との間で意見交換を行いました。</li> </ul> |
| 9 | <p>これまでの研修会により参加者にどのような変化が見られたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例) スマート農業機器の導入件数が○件増加した。<br/>スマート農業機器を導入したい意欲が○%上昇した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の講演会でアンケートを実施しましたが、御質問のように、意欲が○%上昇した等は把握していません。</li> <li>・また、スマート農業機器の導入台数は把握しており、導入件数は増加傾向にありますが、増加した理由が研修会に起因するものであるかまでは把握していません。</li> </ul>   |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 10 | <p><b>今年度研修会で注力したいと考えているテーマや技術分類は？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組を踏まえた、今年度のスマート農業のテーマはあるか？</li> <li>・課題と感じていることはあるか？</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦部、山間部の地域特性において農作業の効率化、省力化につながる有効なスマート農業機器の研修をご提案いただければと思います。</li> <li>・どのような研修方法が、普及啓発により効果を発揮するのかが課題と考えておりますので、有効な提案をお待ちしています。</li> </ul>  |
| 11 | <p><b>今年度の実施内容で考慮すべき点は</b></p> <p>例) 昨年度実施した研修内容の連続性を求められるなど。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施した研修からの連続性などは考慮しておりません。</li> <li>・平坦部、山間部の地域特性に有効なスマート農業機器の研修をご提案ください。</li> <li>・また、参加者の募集については参加予定数を達成できるような募集方法を提案ください。</li> <li>・なお、研修会開催にあたっては参加者や受託者の安全に十分ご留意いただき、実施をお願いします。</li> </ul>                       |
| 12 | <p><b>研修会の説明者、機械操作者、補助者等はスマート農業機器メーカーの者であることが必須か？</b></p> <p>例) 受託会社の者が説明等を行うことは可能か？</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日運営スタッフが全て、スマート農業機器メーカーの社員である必要はございませんが、少なくとも説明者は機器の効果や性能を詳細に説明していただく必要があります。</li> <li>・また、質疑応答者は、農業者の質問に対しては丁寧な説明ができることが求められます。</li> <li>・さらに、ドローンなどの操作に資格を要する機器がある場合、会社の社員かどうかに関わらず有資格者に操作していただく必要がございます。</li> </ul> |